

敦賀発電所2号機 洗たく廃液モニタタンクにおける腐食について

敦賀発電所2号機（第18回定期検査中）において、2025年1月21日10時06分頃、巡視点検中の当社社員が原子炉補助建屋地下1階（管理区域）にあるAおよびB洗たく廃液モニタタンク※¹外表面の下部（胴部、底部）に複数の腐食痕を確認しました。

このため、タンク外表面を調査した結果、溶接線部に計68箇所の腐食痕を確認しました。

なお、腐食痕からのタンク水の滴下は見られず、腐食痕の表面をふき取り測定した結果、放射性物質は検出されませんでした。

その後、タンクの内表面を調査した結果、溶接線部の保護塗装※²の端部に隙間を確認しました。この保護塗装の一部を剥がしたところ、溶接線部に腐食を確認しました。また、浸透探傷検査※³の結果、外表面の腐食痕とほぼ同じ位置に欠陥を示す指示模様を確認したため、タンク内表面から外表面に向かって腐食が進行したものと推定しました。

なお、本事象による周辺環境への影響はありません。

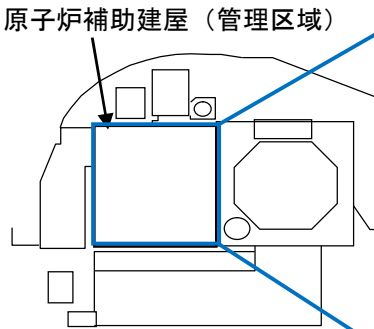
今後、腐食が発生した原因について、調査してまいります。

- ※1 1、2号機の管理区域で使用した衣服の洗たく等に伴い発生した水をフィルターで処理し、放射能濃度を測定後に放出するため一時的に貯めておくタンク。
- ※2 2014年に発生した洗たく廃液モニタタンクからの漏えい事象対策として、タンク内表面の溶接線部にエポキシ樹脂を接着させたもの。
- ※3 試験体表面に開口しているきずを目で見やすくするため、可視染料の入った高浸透性の液を浸透させた後、余分な浸透液を除去し、現像剤により浸透指示模様として観察する方法。

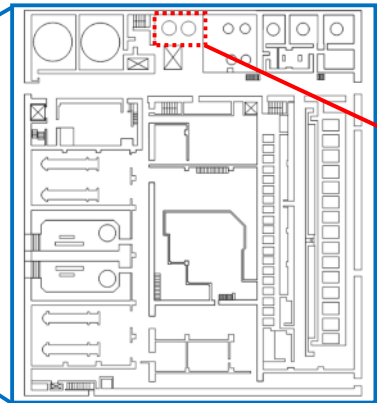
以上

発生場所および系統概略図

【建屋配置図】



【原子炉補助建屋地下 1 階】

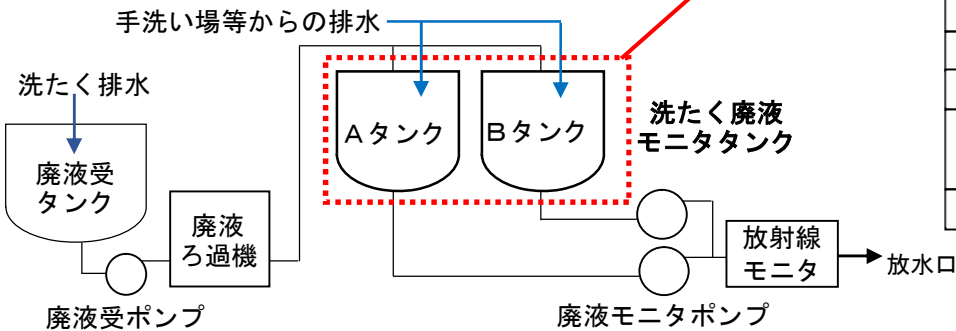


【洗たく廃液モニタタンク外観】



タンク運用範囲：水位 5 ～ 9 3 %

【洗たく廃液処理系概略系統図】



【洗たく廃液モニタタンク仕様】

容量	30m ³
高さ	約5.0m
内径	約3.7m
厚さ	(胴部) 6.1mm
	(底部) 5.4mm
材料	ステンレス(SUS304)

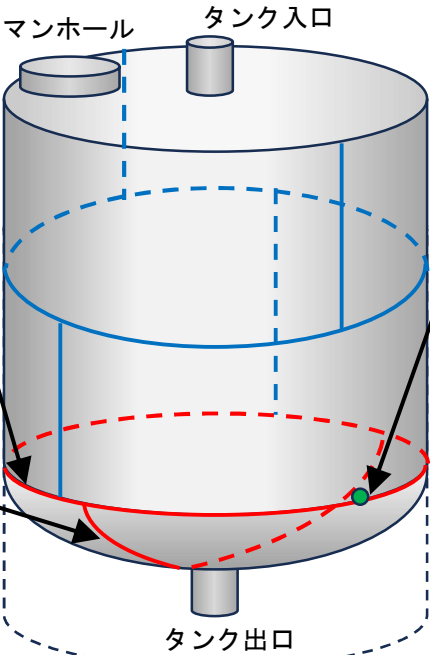
- 凡例
- 溶接線部（腐食痕あり）： 赤線
 - 溶接線部（腐食痕なし）： 青線
 - 浸透探傷検査箇所： ●

タンク点検結果
(写真はAタンク)



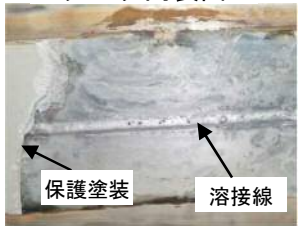
赤線箇所に複数の腐食痕あり

	胴部	底部
Aタンク	24箇所	7箇所
Bタンク	28箇所	9箇所

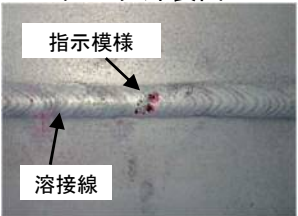


【洗たく廃液モニタタンク】

保護塗装を剥がした状態
タンク内表面



浸透探傷検査結果
タンク外表面



タンク内表面

